

Apr

2025

藍サポ通信

— 明日に向かって —

vo1.55

表紙：くれよん卒業式



タイトル

- ・ 藍本館 成人式
- ・ くれよん卒業式
- ・ メッセージの紹介
- ・ 季節行事・期待できる効果
- ・ 写真展開催しました

2025年3月度 季刊誌

生活介護 藍（本館）

成人式

令和6年1月16日（木）藍（本館）にて成人式が行われました。今年度藍（本館）ではSさんが成人を迎えられました。日頃一緒に過ごしている利用者さんや、職員に拍手と笑顔で迎えられ、いつもと違う服を着て、ご家族の方も来られていた為か、少し緊張した表情をしていて落ち着かない様子のSさん。いつもとは違う緊張感漂う部屋の雰囲気の中、Sさんの成人式が始まりました。

祝辞では職員が「くれよんを卒業して早二年が立ち、周りの大人に囲まれ大人の階段を少しずつ上り大人の仲間入りをしました。時に元気に、時に責任をもって、時に楽しく日々を過ごして頂ければと願っています。」と述べる中、Sさんは緊張しつつもお辞儀をし、お母さんと一緒に拍手をいたしました。成人式証書授与ではSさんは証書を受け取ると、やったーと手を万歳し、お母さんに嬉しそうに笑顔で証書を見せていました。

記念品のキャンドルを貰った際にも喜んで利用者さんや、職員に見せていました。家族への感謝の言葉では、Sさんの幼少期か

らの20年間の家族との思い出や、大変だったことなどを振り返り「20年間私を育ててくれて本当にありがとうございます。私はゆっくりだけど色々なことが出来るようになってきているよ。まだまだ出来ないことはあるけれど、私は私なりに頑張っているからね。だから、しっかり見ててね。これからも心配や迷惑をかけることがあると思うけど、よろしく願います。」と、Sさんの想いを職員が代読しました。

会場は感動と温かい拍手、笑顔で溢れていました。ご家族、利用者、職員とたくさんの方に囲まれてとても素敵な成人式になりました。

Sさん 御成人 おめでとうございます！



くれよん卒業式

3月26日（水）令和6年度のくれよんの卒業式が行われました。くれよんとしては2年ぶりの卒業式です。子どもたちは、来所すると壁面の装飾や、テーブルのセッティングなど、いつもと違うフロアの様子を見てハッとした表情。

前半はいつものように宿題をしたり、ボール遊びをして過ごし、15時からスタートしました。緊張した様子で入場する5人の卒業生。参加している子どもたちや、職員は笑顔と拍手で迎えます。



入場前、緊張した様子のNさん

最初は、いつもより少し豪華なおやつを食べながら、スライドショーで写真を見て思い出を振り返ります。

スライドショーが止まってしまうトラブ

ルもありましたが、なんとか始まり、ゆっくりとおやつを食べながら楽しんでいる様子でした。



おやつ後は、設定保育の「卒業生すごろく」です。5つのチームに分かれて卒業生にちなんだクイズや、ミニゲームに挑戦してゴールを目指します。

卒業生にちなんだクイズは、卒業生以外の

子どもたちが答えることになっており、問題が出されると「えー!」と言いながらもそれぞれチーム内で協力しながら考えて答えを出していました。盛り上がりつつはいましたが、残念ながら時間が足りなくなってしまうゴール出来たチームはなく、タイムアップの時点で順位が決まりました。

次は卒業証書とアルバムの授与式です。5人1列に並び、職員から名前を呼ばれると一人ずつ卒業証書とアルバムを受け取りに行きます。その際には、在籍している子どもたちの中から代表で選ばれた5人がそれぞれ、お菓子で作ったブーケと一緒に渡します。その様子を見ていた子どもたちは、霧囲を感じながら静かに見守っていました。



授与式が終わると、卒業生たちでくす玉を割り、「祝卒業おめでとう」の文字が出てくると、フロアはみんなからの「おめでとう!」の言葉と拍手に包まれていました。

最後は卒業生から挨拶の言葉があり、それぞれくれよんで過ごしたことを振り返ったり、今後の抱負を伝えてくれました。先輩た

ちの言葉を聞いた子どもたちの大きな拍手で卒業式は無事に閉幕しました。



メッセージの紹介

ここで、卒業生と卒業生の保護者さんから頂いたメッセージを紹介させて頂きます。卒業生ご本人には、インタビュー形式で色々とお話を聞いてみました。

Kさん

くれよんさんには、小2の時から御世話になり、本人が安心できるもう一つの家のような存在でした。我が強く、言葉で伝えることが苦手な子を見守り、寄り添い、支えて頂きました。

親の悩みにも寄り添って頂き感謝しております。4月から全く新しい環境になります。不安でいっぱいですが、親子で乗りこえていきたいです。

本当に長い間ありがとうございました。

Sさん

くれよんさん12年間本当にお世話になり、たくさんの喜びを息子と共に頂きました。いつもどんな時も息子の息抜きの場所となっておりました。学校や友達関係、今までいろいろと息子も悩んだり苦しかった中、いつも「くれよん行く!」と言った言葉が、落ち着く居場所の一つであったのだなあと思いました。年月と共に大きく成長してくれました。私も、くれよんさんのおかげです。親子共々助けて下さり本当にありがとうございました。

いつの日か又成長した息子がきつとくれよんさんに顔を見せに行くだろうと思えます。その日が来たら、どうぞ安心して下さい。沢山の子どもたちに幸せを喜びをまた届けて下さい。ありがとうございました。

N・Kさん

くれよんさんには2年間お世話になりました。通っていたデイが閉鎖し困っていたところを受け入れて頂き大変ありがたかったです。最初は不安そうでしたがスタッフの方々が上手に関わってくださったおかげで笑顔が出てくるようになり安心しました。楽しく通えた事が一番うれしく感じています。これからどこかで会える機会があると良いなあと思っています。

スタッフの皆様どうもありがとうございました。

N・Tさん

放デイがまだ少なく空気がない状態の時に親身に相談に乗ってもらったのが出会いました。運良く小学校に入ってすぐ利用できる様になりました。くれよんに行くのがお世話になりました。くれよんに行くのが楽しく安心できる場所だったと思います。

高学年になって困った行動が出てきた時も根気良く関わって下さった事が母には心強く感謝しております。4月からの生活は戸惑いがあると思いますが、くれよんでの経験を思い出して頑張ってくれるのではと思います。

本当にありがとうございました。

Mさん(保護者)

くれよんのスタッフの方には小学校の運動会、ピアノの発表会などに来て頂いたり、子どもが困ったり悩んだりした時はいつも寄り添い話を聞いてアドバイスをもらっていたそうです。高校生になると利用回数は減りましたが、卒業後の進路の事など色々相談に乗って頂き本当に感謝しています。四月からは本人が希望したコンピュータの専門学校に進学します。これから大変な事があると思いますが、今までお世話

になったスタッフの方への感謝の気持ちを忘れず自分のペースで学校、アルバイト、遊びを楽しみながら頑張って欲しいと思います。

十一年間お世話になり有り難うございました。

Mさん（ご本人）

Q
くれよんはあなたにとってどんな場所ですか？

A
「成長し合う場」だと思います。例えば、普段みんなで遊んだり出掛けたりするうちにお互いのいろんなことに気付くことが出来たと思います。

Q
1・2年間振り返ってみてどうですか？

A
最初の頃は先輩がたくさんいて、よく頼ったりしていましたが、少しずつ年下の子が増えていくうちに「自分も頑張らない」という自覚を感じるようになっていったと思います。

Q
くれよんでの一番の思い出は何ですか？

A
中学生くらいの時に、バーベキューや、ショッピングモールにおでかけよく行っていた時期があり、そこで普段のくれよんでは経験できないような事を楽しめたのが今でも思い出に残っています。

Q
これからやってみたいことは？

A
自分は4月よりコンピューターの専門学校へ進学し、自分が興味のあるコンピューターについて学んだり、資格も取りたいと思います。自分は今も人間関係に苦手な所があるので、これまでの失敗を繰り返さないように頑張ります。

Q
最後にひと言お願いします。

A
くれよんのスタッフのみなさん、長い間本当にありがとうございました。迷惑をかけてしまったこともあるけど、くれよんで学んだ様々な経験を忘れずに生きていこうと思います。

Mさんからくれよんのみんなへ

これからくれよんで過ごす貴重な時間を大切に、大人になった時に「くれよんであんなことあったなあ。」と、ふとした時に思い出せるようになって欲しいなと思います。

ます。

皆さん、お忙しい中書いて頂きありがとうございます。新年度が始まり、新しいスタートが良いものであるよう、これからも応援しています。

季節行事・期待できる効果

生活介護藍（南館）では新年を迎え、季節行事が始まります。利用者さんにとって行事は楽しみにしている特別な活動です。単調になりがちな日々に、行事を通して生きがいを感じて頂き、楽しめる時間を少しでも多く提供できるように努めております。

また、日々の活動でも、ミュージックケア・手話コース・ストレッチ・ダンスなどの活動を通じて利用者さん同士のコミュニケーションを深めるきっかけを促し、日常生活に潤いや、刺激をもって頂けるように支援しています。

1月には新年会を開催し、かるた遊びや書初めを行いました。書初めに好きなことや、やりたいことを書いて頂き、出来上がったご自分の作品を手笑顔を見せてくれました。毎年恒例の初詣では、今年一年健康で、元気に過ごせるようにそれぞれ手を合わせ祈願しました。



お昼には、おめたい雰囲気味わえる華やかなお弁当を用意しました。利用者さんはお弁当のふたを開けると、「きれいだな〜」、「おいしいな〜」、「これから食べよう〜」など様々な表情が見られました。2月には、節分とバレンタインのイベントを開催しました。

各階、チームに分かれて新聞を丸めて作った豆を沢山投げたチームがメダルを獲得するゲーム形式で行いました。利用者さんは、豆まきをやる気満々で鬼を待ち構え、鬼に扮した職員がやってくると、鬼にめがけて勢いよく「鬼は外〜 福は内〜」と元気よく豆をたくさん投げて、鬼退治を楽しんでいました。

2月14日、バレンタインイベントを行いました。女性の利用者さんでテーブルを囲みいざチョコプリンの調理をスタート！

皆さんそれぞれ板チョコを手で割ったり、細かくしたチョコを温めた牛乳に加え、よく混ぜていました。すると、チョコを混ぜるのがお気に入りになり、泡立て機を離さずくるくる楽しそうにする利用者さんがいらつしやるなど、和気あいあいとした雰囲気です。調理を楽しんでいました。最後にデコレーションをして完成。

午後は女性の利用者さんから男性の利用者さんにチョコプリンとクッキーに加え、手作りのバレンタインカードを添えてお渡ししました。また、チロルチョコを持ってきた女性利用者さんからもお渡しすると、「いいね」と拍手をされる方もいて、皆さん嬉しそうな様子でした。

今年も色々な季節行事や企画を行い、利用者さんが楽しめる一年にしていきたいです。

写真展

開催しました

令和7年3月8日から31日まで1年間の活動の様子をまとめた写真展を開催しました。参加事業所は、生活介護藍本館と南館、放課後等デイサービスくれよん（ひらの）の3事業所に加え、くれよんを利用されている児童1名も参加して頂けました。

各事業所からは、外出行事や遊びの一面を切り取った写真が展示され、見る人によって感じ方や、見え方に違いがあったかと思ひます。私たちスタッフから見ると利用者さんの表情が良い事は勿論なのですが、撮影した時の楽しい様子が頭にでてきました。実際、写真展を見ていたくれよんのスタッフと児童も写真をみながらその時の様子を思い出しては笑うといったやりとりをされていました。



また、くれよんから参加して頂いた児童の写真は自身が出かけたときに撮影した風景写真となっていました。



写真展の準備をしながら児童が撮影した写真をみていて『なぜ』『どんな想いで』撮影したのか確認したくなり、児童に2点ほど質問を投げかけたところ次のように答えてくれました。

Q

写真に関心をもったきっかけは？

A

初めにカメラ自体に興味をもったのがきっかけでその後、カメラを持つてでかけるようになりました。

Q

撮った写真への想いや意図はありますか？

A

自分が出会った趣のある風景をいつまでも写真に残しておきたいという理由で写真を撮っています。

その時、その場所では何か感じるものがあり、撮影されていることがわかりました。

質問に答えて頂きありがとうございます。広報委員会としては今年度も様々な企画を考え、実現して参ります。

藍サポ通信—明日に向かって— について

当季刊誌では、利用者様の事業所内や様々な活動でのご様子を公開しています。利用者様のご様子を季刊誌を通じてお伝えすることで、ご家族の安心や福祉サービスの利用を検討されている方々のご参考になれば幸いです。

これらの広報活動を通して私たちの活動について周知を図るとともに、今後も様々な活動を充実・向上させていきたいと考えています。

※当季刊誌に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

編集

一般社団法人 地域生活サポート協会 広報委員会
大阪市平野区平野西 1-7-14 / TEL 06-6777-1159

社員法人

社会福祉法人藍
大阪市平野区平野西 1-7-10 1F / TEL 06-6777-1567

有限会社ひらの

大阪市平野区平野西 1-7-10 2F / TEL 06-6777-1539

安心創造

Create our peace of mind



HP
ai-snet.com



HP
shafukuai.ai-snet.com



HP
yuhirano.ai-snet.com



Instagram
@aisupportnetwork